

## 平成28年第1回（2月）瀬戸内市議会定例会

### 教育委員会行政報告

市長の一般行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

初めに、私が教育長に就任してから間もなく1年を迎えます。この間、議長並びに議員の皆さま、そして市民の皆さまのご指導・ご支援をいただき、重責を務めさせていただくことができました。心より御礼を申し上げます。

さて、本年においても学校教育、社会教育ともに、それぞれの課題に対応するため、今後とも関連施策の充実を図っていきます。

特に、学校教育においては、小学校における英語の教科化や幼児期における適切な支援のための対応など、また、社会教育においては6月に開館予定の新図書館等における生涯学習の機会の充実に取り組んでいきたいと考えています。

今後とも教育委員会に対して、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、行政報告に移らせていただきます。

#### ○ 外国語指導助手（ALT）の配置について

教育委員会としましては、平成28年度から外国語教育の推進に力を入れたいと考えています。社会のグローバル化が進む中で子どもたちの基礎学力の向上を図りつつ、幼児期から小学校中学年までに英語に慣れ親しむ機会を確保し、コミュニケーション能力の素地を養うため、ALTの

配置を拡充したいと考えています。

授業だけでなく、学校生活全般において、さまざまな場面で子どもたちとALTが触れ合うことにより、より効果的なものとする予定です。また、小学校においては、外国語の指導力向上を目指した教員研修を実施します。このことは、平成32年度からの小学校高学年の英語の教科化を見据えてのことです。昨年11月には外国語教育推進委員会を設置し、学校園の代表者の方から推進方策等について、さまざまなご意見をいただいたところです。今後も引き続き、外国語教育推進のための準備を進めていきたいと考えています。

#### ○ 学校施設の耐震化等について

学校施設の構造体に対する耐震化については、文部科学省の基準に基づき実施しています。瀬戸内市立の学校施設については、2月末に完了する長船中学校武道場の耐震改修工事をもって、耐震化率100パーセントを達成する予定となっています。

また、今年度は、牛窓東小学校体育館、邑久中学校武道場及び長船中学校体育館の吊り天井や照明器具などの非構造部材に対する耐震化工事を実施し、児童生徒が地震の際の落下物による被害を受けないよう整備しました。

今後の学校施設に対する改修においては、多くの施設の老朽化が進んでおり、大規模改造や老朽改修が必要な建物が多く、計画的に整備をしていきたいと考えています。

来年度においては、邑久中学校校舎の南棟の大規模改造工事を計画しており、大規模改造工事の関連費用を当初予算に計上していますので、

よろしく申し上げます。

#### ○ 牛窓北幼稚園の休園について

牛窓北幼稚園については、耐震診断等を行う基準の施設ではありませんが、園児の安全を確認するため、今年度、園舎の簡易耐震診断を実施しました。結果は、耐震化が必要であるが、基礎に鉄筋が入っておらず強度が弱いことなどから、耐震補強での耐震化は困難であると判定されました。

その後、保護者へ報告するとともに意見交換を行ってきました。最終的に2月15日に4月入園希望の園児の保護者も含め開催された臨時PTA総会において検討された結果、今後のあり方については、「教育委員会へ判断を委ね、結果に従う」と決議されました。なお、この過程の中で、7人の在園予定者のうち数人が保育園への転園を希望したことから、平成28年度は園児が5人を下回る見込みとなっています。

教育委員会としては、PTA総会の決議を受けて2月18日の教育委員会会議において協議を行い、園児の安全を図ることが重要であること、人間関係の固定化など教育の質の低下につながる懸念があることなどから、牛窓北幼稚園を平成28年4月1日から休園し、入園希望者については牛窓東幼稚園に入園いただくことと決定しましたのでご理解をお願いします。

#### ○ 瀬戸内市公民館について

公民館では、世界的糸操り人形師で瀬戸内市名誉市民である竹田喜之助さんや糸操り人形について、専門的知識を身に付けた人材を育成する

ため、1月から新たに「喜之助マイスター養成講座」を開講しています。

この講座は、竹田喜之助顕彰会やアマチュア糸操り人形劇団協議会との協働事業であり、4月までの全4回を予定しています。この間、人形劇の祭典「喜之助フェスティバル」の取り組み、喜之助さんの直弟子の講話、糸操り人形の仕組みを学び、操り体験などを行う予定です。

講座終了後は、喜之助マイスターとして、6月に開館予定の新図書館内に整備する喜之助ギャラリーにおいて、ボランティアガイドとして活躍いただくことも計画しています。

#### ○ 備前長船刀剣博物館について

博物館では、本年1月29日から3月27日まで、特別展「備前刀剣王国」を開催しています。平安時代以降、現代に至るまで、長船を中心とした備前国では刀剣が盛んに作られました。現存する刀剣の約半分が作られた場所といわれ、まさしく刀剣王国でした。

平家の需要に応じて発展した古備前派、後鳥羽上皇に招かれて作刀した一文字派の作品。蒙古襲来に大工房で刀剣需要に応え、以降の刀剣界を牽引した長船派の刀剣。平安時代以降のあらゆる時代のさまざまな名将たちに大切にされてきました。

今回は、文化庁や京都国立博物館から個人所有のものまで、国宝<sup>ふり</sup>3口、重要文化財6口、重要美術品14口を筆頭に備前刀の名品ばかり、総計45口を展覧しています。

当館始まって以来の、世界に通じる備前刀の名品展を見ていただくことで、日本一の刀剣王国である、その誇りある郷土文化を再確認いただく機会となればと考えています。

## ○ 瀬戸内市立美術館について

美術館では、12月5日から1月24日まで、「ちびまる子ちゃん」の原作者で知られる「デビュー30周年記念 さくらももこの世界展」を開催しました。原画約130点を中心とした内容で、テレビや新聞などで取り上げられ、親子・孫世代まで広い層の方々が約4千人来館されました。

1月29日から2月14日までは、地元で活躍する若手作家を応援する企画として、彫刻家「片山康之展－0の集積－」を開催しました。倉敷市在住の片山先生は、29歳で日展特選を受賞し、また自身が中心となって美術館の運営活動を行うなど、地元の若手作家では際立った存在です。

そして2月24日から3月27日までは、佐竹徳画伯に牛窓を紹介した画家を取り上げる企画展「阿藤秀一郎展－幻の郷土画家をたどる－」を開催します。昨夏に開催した「河合コレクション展」でも阿藤作品を公開したところ大変好評であり、今回は数十年ぶりに公開される作品ばかりを集めた展示になる予定です。

毎週日曜日に行っているギャラリートークは、作品に対して良い解説が聞けると、リピートされるお客様やアンケートで好意的なご意見を寄せて下さる方が増えてきました。今後も継続して行うことで、週末に美術館に行けば楽しめるというイメージ作りを確立します。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成28年2月24日

瀬戸内市教育委員会

教育長 柴崎 伸次